

胆膵領域悪性腫瘍の肺転移切除の手術のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた多施設共同研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 呼吸器外科 職名 准教授
氏名 菱田 智之

実務責任者 所属 呼吸器外科 職名 助教
氏名 政井 恭兵
連絡先電話番号 03-5363-3806

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究は慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認、ならびに慶應義塾大学病院長の許可を得て行われる研究です。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、実務責任者 政井恭兵(03-5363-3806)までご連絡をお願いします。

1. 対象となる方

慶應義塾大学病院において1996年1月1日から2019年4月30日の23年間に、転移性肺腫瘍研究会のデータベースに胆膵領域悪性腫瘍肺転移切除例として登録された84例が研究対象となります。

2. 研究課題名

承認番号 XXXX-XXXX

研究課題名 胆膵領域悪性腫瘍の肺転移切除例の検討

3. 研究実施機関

慶應義塾大学病院呼吸器外科

4. 本研究の意義、目的、方法

胆膵領域悪性腫瘍の肺転移に対する肺切除後の予後と予後予測因子を検討します。

5. 協力をお願いする内容

本研究では、患者さんのカルテからデータを集積し胆膵領域悪性腫瘍の肺転移に対する肺切除後の予後と予後予測因子について解析を行います。

6. 本研究の実施期間

研究実施許可日(通知書発行日)～2021年09月30日(予定)

7. プライバシーの保護について

1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。

2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。

3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。

4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8. 外部への試料・情報の提供

本研究で得られたすべてのデータは各施設で匿名化され、代表研究機関である千葉大学にて解析されます。

9. 研究組織

転移性肺腫瘍研究会 代表:帝京大学医学部外科学講座 主任教授 川村 雅文

施設名	科名	研究責任者
がん研有明病院	呼吸器外科	文敏景
慶應義塾大学医学部	呼吸器外科	浅村尚生
東京都立駒込病院	外科	堀尾裕俊
埼玉医科大学総合医療センター	外科	中山光男
千葉県がんセンター	呼吸器外科	飯笹俊彦
千葉大学大学院医学研究院	呼吸器病態外科学	吉野一郎
東京医科大学	呼吸器外科	池田徳彦
東京大学医学部	呼吸器外科	中島 淳
栃木県立がんセンター	呼吸器外科	松隈治久
獨協医科大学	呼吸器外科	千田雅之
浜松医科大学	外科学第一講座	船井和仁
防衛医科大学校	呼吸器外科	橋本博史
杏林大学医学部	呼吸器・甲状腺外科	近藤晴彦
山形県立中央病院	呼吸器外科	塩野知志
君津中央病院	呼吸器外科	飯田智彦
帝京大学医学部	外科学講座	川村雅文
大阪大学大学院医学系研究科	呼吸器外科	新谷康
愛知県がんセンター中央病院	呼吸器外科	黒田浩章
東京慈恵会医科大学	呼吸器外科	大塚 崇
函館五稜郭病院	呼吸器外科	上原浩文
日本海総合病院	呼吸器外科	金内直樹
長岡中央総合病院	呼吸器外科	古屋敷剛
結核予防会複十字病院	呼吸器外科	白石裕治
東邦大学医学部	呼吸器外科	伊豫田明
国立病院機構 東京医療センター	呼吸器外科	小山孝彦

10. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

11. お問い合わせ

本研究の研究事務局は以下です。

研究代表機関: 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学

教授 吉野 一郎/医師 海寶 大輔

当院において本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部呼吸器外科

TEL: 03-5363-3806 FAX: 03-5363-3499

本研究実務医師: 政井恭兵

以上